

病名等は、現時点で考えられるものであり、今後検査などを進めていくにしたがって変わり得るものです。

入院期間については現時点で予測されるものです。

ご不明な点は遠慮なくスタッフへお尋ねください。

入院当日は、午前10時半頃受け付け①で入院受付を済ませ、病棟デイルームでお待ちください。

入院の際は、この用紙を持参してください。

主治医

受け持ち看護師

患者氏名

家族等氏名

(続柄)

経過 月/日	外来 /	入院日 /	手術前日 /	手術当日（手術前） /
達成目標	手術や麻酔について、心配なことや不明な点を主治医や看護師に伝えられること。 病気や手術・麻酔についてご本人も家族も理解できること。			体調を整え手術にのぞめること。
治療・処置		お薬を飲んでいる方は他院の薬も含めてすべて持参してください。その際、お薬手帳やお薬の説明書があれば一緒にお持ち下さい。 	手術する部位の毛を剃り、おへその掃除をします。 体重測定をします。 必要に応じて下剤や、眠くなるお薬を内服していただく場合があります。	麻酔科医師の指示により、必要な薬を飲んでいただくことがあります。 看護師が弾性ストッキングをはくお手伝いをします。朝から点滴を始めます。手術着に着替えます。車椅子または移動用のベッドで手術に行きます。 
検査	胸部・腹部のX線写真を撮ります。 血液検査をします。 心電図、呼吸機能検査をします。  		 	血液検査があります。 
食事		普通食です。	夕食まで食べれます。水分(水のみ)はとる事ができます。	食事は食べられませんが指示のあった時間までは、お水は飲むことができます。
排泄				手術前にトイレを済ませておいてください。
安静度		院内でお過ごしください。	院内でお過ごしください。	病室内でお過ごしください。 
清潔	爪の長い方は爪を切ってください。マニキュアは落としてください。 	入浴することができます。 必要な方には看護師がお手伝いします。 	除毛、お臍の掃除が済んでから、入浴していただきます。必要な方には看護師がお手伝いします。 	お化粧はしないでください。 手術前にうがい、歯磨きを済ませておいてください。 長髪の方は左右に結んでください。 手術前に下記のものはお取りください。【湿布・義歯・化粧・コンタクトレンズ・金属類・ウィッグ・磁気貼付剤・補聴器・マニキュア】
説明	医師から入院、手術、治療についての説明があります。（別紙参照） 看護師から入院の準備について説明があります。 麻酔科に受診し麻酔の説明を受けます。 （ご家族も一緒に、説明を聞いていただきます。 お薬手帳やお薬の説明書をお持ちください。） 手術までに準備していただくもの ・タオル、ハンドタオルを数枚ずつ ・前開きシャツを数枚 （必要な方は準備してください） ・腹帯を数枚 （売店でも購入いただけます） ・水のみ（病棟でも貸し出ししています）	担当看護師が自宅での生活の様子などについて、お話を伺います。 看護師から入院中のこと、手術前の経過、処置、手術後の食事について説明があります。 手術後に必要な深呼吸やうがいなどの練習を行います。 入院や手術について心配なことがありましたら、担当看護師にお話してください。 主治医から、本人・ご家族へ入院・手術・治療に関する説明があります。		貴重品はご家族にあずけてください。

経過	手術当日（手術後）	術後1日目	術後2～3日目	術後4日目～退院
月／日	／	／	／ ～ ／	／ ～ ／
達成目標	術後の痛みや不快を伝えられること。	看護師の付き添いのもとで室内の歩行ができること。水分・食事をとって異常がおこらないこと。		食事を食べても異常が起こらないこと。採血結果に異常がみられない。退院後の生活について不安がないこと。異常時の受診方法を理解できること。
治療・処置	手術後、看護師が伺い、体温や血圧測定などを行います。 点滴・酸素マスクをします。 胃管（鼻から胃に入ってくる、吐き気防止の管）、ドレーン（お腹にたまった血液などを外に出す管）が入ってくることがあります。 痛み止めの持続注射、または硬膜外カテーテル(痛み止めの麻酔薬の管)が入ってくることがあります。 痛いときは痛み止めをしますので遠慮なくおっしゃってください。 熱があるときは解熱薬を使うことがあります。 心電図モニターなどが付きます。 ガーゼを交換します。 	酸素マスク、心電図モニターは外せます。状態によっては数日つけておくことがあります。 胃管が抜ける予定です。回診時傷口の観察を行います。 歩行ができた方は、弾性ストッキングをぬぐことができます。	回診時、傷口の観察を行います。 術後2日目にドレーン、術後3日目に硬膜外カテーテルが入っている方はカテーテルを抜きます。 	回診時、傷口の観察を行います。 退院後の外来受診日に抜糸をします。 
検査		血液検査をします。 胸部・腹部のX線写真を撮ります。	血液検査をします。	
食事	食べたり飲んだりできません。 	医師の指示により水分が許可されます。 お腹の痛み、吐き気がなければ医師の指示でやさしい食事から始まります。		
排泄	手術後は尿を出す管が入ってきます。便が出そうなときは看護師の介助でベッド上で便器を使用します。状態によっては術後1日目よりトイレ歩行も可能となります。		尿を出す管を抜きます。その後は、尿をためてもらいます。	
安静度	ベッド上で安静にお過ごしください。 体の向きを変えることができます。 	看護師の付き添いのもと立ち上がる練習を始めます。 状態によっては歩行練習も行います。	病院内でお過ごしください。1日1回以上は歩行練習を行いましょう。 	
清潔	麻酔が覚めたら、うがいができます。 看護師が洗面をお手伝いします。	体を拭くことができます。 看護師が体を拭くお手伝いをいたします。 	医師の許可が出たら、シャワー浴（ドレーン抜去後）ができます。 入浴は退院後、外来で抜糸してから入れるようになります。 	
説明	主治医から、ご家族の方へ手術結果の説明があります。			退院後の生活について説明があります。（別紙を参照） 看護師が次の外来受診について説明します。 退院時間は午前10時の予定です。 おおよその入院費用は次のとおりです。（3割：55～57万円、但し高額医療申請をすれば約10～17万円程度。1割：5.5～6万円） 3番窓口でお支払い下さい。